



Vol.145

2021年6月号

やらざあ

「ただいま」「おかえり」って言い合える輪を茅野市でも みんなで広げよう!! シトラスリボンプロジェクト



あたりまえと思っていた「ふだんのくらしのしあわせ」を揺さぶっている新型コロナウイルス感染症。

大事なのは、たとえ感染しても、感染された方への差別や偏見をせず、地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せることが大切です。

シトラスリボンプロジェクトは、コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくそうと愛媛の有志がつくったプロジェクトで、愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラスカラー（柑橘をイメージした色）のリボンや専用ロゴを身につけて、それぞれの暮らしの場所で「ただいま」や「おかえり」

の気持ちを表す活動を広めています。

リボンやロゴの3つの輪は、『地域』と『家庭』と『職場もしくは学校』を表現しています。



茅野市社協もシトラスリボンプロジェクトの活動に賛同しています。

あすなるセンター、塩つぼデイサービス、西部デイサービスの利用者みなさんにシトラスリボンを作っていただきました！

茅野市では各地区であいさつ運動が行われていますが、「ただいま」「おかえり」などのあいさつを気軽に言い合える輪を、これからも広げて行きましょう!!
こんな時だからこそ、みんなが心から暮らしやすいと思えるまちを創っていきましょう。



シトラスリボンの作り方 (You Tube)

シトラスリボンの作り方



シトラスリボンプロジェクト
公式ホームページ

シトラスリボンプロジェクト



いこいコンサート



3月3日(水)、ピアノ・トランペット・マリimbaによる「いこいコンサート」を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染予防対策を取った開催となり、参加者同士のおしゃべりはできませんでしたが、事前メッセージでの情報交換や、ステキな音色に包まれながら穏やかな時間を過ごしていただきました。

さまざまな想いを胸に涙ぐむ方や、「近くでコンサートが聴けて贅沢な時間だった!」「コロナで、買い物以外では全く出かけることがありませんでした。息子にも聴かせたいくらい!」等の感想をいただきました。

◆プログラム◆

- ♪ノクターン2番
- ♪ハトと少年
- ♪さくらさくら—五景—
- ♪日本の歌メドレー
- ♪美女と野獣
- ♪見上げてごらん夜の星を
- ♪いい日旅立ち
- ♪川の流れるのように
- ♪アンコール・信濃の国



「いこいの集い」とは…

ご家庭で家族の介護をされている方を対象に、日々の疲れを癒しリフレッシュしていただくことを目的に、企画しています。



入りました!



茅野市社会福祉協議会



神前 陽子 (こうざき ようこ)

4月1日より、地域福祉活動推進係(北部)に配属されました。

北部保健福祉サービスセンターにいますので、みなさんといっしょに「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を進めていきたいと思っています。よろしくお願いたします。



茅野市社会福祉協議会



河西 志織 (かさい しおり)

4月から茅野市役所の生活就労支援センター「まいさぼ茅野市」という自立相談支援機関に派遣となりました。

みなさんの毎日が楽しく過ごせるよう、日常のお困りごとがありましたら一緒に解決方法を考えましょう。よろしくお願いたします。



令和3年度 茅野市社会福祉協議会の事業と予算

市民一人ひとりを大切にした総合的な地域福祉の推進を目指して、令和3年度は下記の事業に取り組みます。なお、社協が実施している事業を「やらざあ」にて随時、紹介していきます。



予算総額 382,183 千円



福祉を支えるための 総合支援・応援体制づくりを推進します

(72,878千円)

社協広報紙「やらざあ」、ホームページ、SNSなどを活用した情報提供、福祉意識の啓発を行います。また、社会福祉大会の開催や社協会員の加入促進を行うとともに、様々な生活課題に対して総合的に支援、応援できる社協体制の充実を図ります。

ボランティア・市民活動（市民力）を 推進、支援していきます

(14,814千円)

地域や学校などで“ふくし”の心を育む福祉教育（共育）学習を行うとともに、地域で行われている様々なボランティア活動に出向き、課題を一緒に考えます。また、ゆいわーく茅野において、市民、行政、社協の三者協働によって、様々なボランティア・市民活動の総合的な支援を展開していきます。

本年度は、茅野市社協を主体とする福祉に基軸をおいた「(仮称) ボランティアまちづくりセンター」の機能等を検討していきます。



一人ひとりの日常生活を支え、応援します

(68,178千円)

住み慣れた地域で安心して生活を送れるように、チャララほっとサービス、配食サービス「おたっしや弁当」、移送サービスなど、利用者一人ひとりに寄り添った生活支援サービスを提供します。また、様々な生活課題を抱える方に対し、総合相談や貸付事業、成年後見制度などを横断的に組み合わせて切れ目のない支援を行います。

本年度は新たに職員を生活就労支援センター「まいさば茅野市」へ派遣し、相談体制及び連携体制の充実と、困窮者のニーズに応じたサービスの構築に繋がります。

みなさんの地域づくりを応援します

(59,735千円)

各地区に1名配置しているコミュニティソーシャルワーカーが、「住民同士が互いに支え合える地域づくり」をすすめるため、地区社協や福祉推進委員の活動支援を行います。また、個別訪問をとおして、子どもから高齢者まで一人ひとりの生活課題を解決できるよう支援を行います。



住み慣れた地域で生きがいを持ちながら生活できるように、活動者同士のつながり、地域での見守り、趣味や体操等による居場所づくりなどの支え合いの仕組みづくりを地域のみなさんと一緒に考えていきます。

“心のこもった” 介護サービスを 提供します

(135,992千円)

訪問介護事業（ヘルパー）・通所介護事業（西部デイサービス）・居宅介護支援事業（ケアマネージャー）を通して、高齢者や障害のある方が安心して地域での自立生活が続けられるよう、きめ細かな介護サービスを提供します。

障害のある方の相談、 居場所づくりや就労支援をします

(30,586千円)

「あすなるセンター」の運営を通して障害のある方に、就労の機会、機能訓練、社会参加の場を提供していきます。また、利用者の方々の様々なニーズに応え、適切なサービスが受けられるように利用計画を作成する相談支援サービスを提供します。

詳しくは、茅野市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

新しい職員が

茅野市社会福祉協議会



諸橋 恵子 (もろはし けいこ)

今まであすなるセンターで、サービス管理責任者をやらせていただきましたが、4月より、管理者も兼務させていただきますことになりました。

利用されている方の笑顔に支えられながら、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



茅野市社会福祉協議会

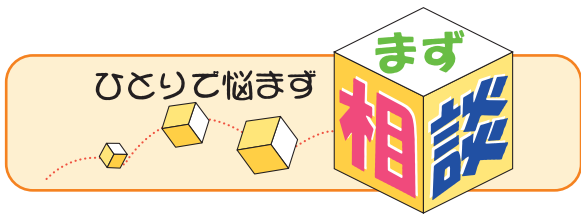


武居かほり (たけい かほり)

この度、日常生活支援係、総務・企画係に配属となり、主に相談支援を担当することになりました。

よくお話をお聴きして、お一人おひとりの背景に思いを馳せながら、一緒に考えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。





人生には様々な悩みがあります。

「誰にも相談できない」

「どこに相談したらよいかわからない」

そんなときは、まず社協にお電話ください。

すべての相談会場は

社協相談室(茅野市ひと・まちプラザ2階)になります。

☎73-4431

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：社協職員

結婚相談

結婚を望まれる方の相談

毎月第1・3土曜日 午後1時～午後4時

毎月第2・4金曜日 午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談(予約制)

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士

ご寄付ありがとうございました

令和3年2月1日～令和3年3月31日まで

(順不同、敬称は省略させていただきます)

【寄贈】

清水 由里子 清拭布等 4.7kg

野村ユニソン株式会社・ナンシン機工株式会社

食品19品目 マスク450枚(フードドライブ)

河合 澄子 布ボール

玉川女性の会 清拭布14.6kg・リース

【寄付金】

三栄製菓株式会社 代表取締役 藤森博昭 300,000円

有限会社 夢美人 代表取締役 両角和茂 58,678円

小池 平治 100,000円

みなさんからいただいたご寄付は、社協運営事業、ボランティア活動の支援等にも使われています。

※この他にも匿名で多くの物品やご寄付をいただいております。

社協広報紙 **やらざあ** Vol.145

2021年6月号

発行/社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集/やらざあ編集委員会

〒391-0002

茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ2階

TEL (0266) 73-4431 FAX (0266) 73-8030

URL : <https://sharara.or.jp>

E-mail : support@sharara.or.jp

読者の声

●「繫」の字に感動!! 当たり前に見えることに感謝!! 本当にそう思います。切り抜いて部屋に貼り心にとどめています。

(玉川 60代 女性)

●コロナ禍でもスポーツ公園の桜は満開となり、4月からはどっこいしょも開催となって茅野市民の皆様の喜びの春が訪れました。

(宮川 50代 女性)

●1年前の桜の季節、さみしく遠くからながめていたのが、今年は歩きながらそっと見ている……。来年こそはシートを広げて見たいと思いました。

(玉川 40代 女性)

●桜が咲いてきました。コロナの終息の兆しがなかなか見えませんが、美しい桜を見て気持ちが明るくなりました。

(ちの 30代 男性)

●地域のためになることが沢山載っているので活用させてもらっています。この年になり大切な情報収集の一つです。これからも見ます!

(ちの 30代 男性)



今回のクイズ

6月といえば

つ	ぎ	ひ	ろ
こ	ち	ま	の
や	が	ゆ	の
ち	ら	え	も

これらのひらがなを一文字ずつ下の枠へ入れていくと、6月を連想した言葉になります。④の言葉は何でしょう?

①				
②				
③	や	ま	び	ら
④				

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあ感想、つぶやきなど一言添えて社協(やらざあ編集委員会)までお送り下さい。ハガキや封書の手、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り 令和3年6月9日(水)

前回のクイズの答え 100円玉

当選者

山田 愛さん(ちの) 斉藤志乃さん(ちの)

笹岡正子さん(米沢)

当選された方には図書カードをお送りいたします。

ご応募ありがとうございました。



社協広報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの社協会費と共同募金が使われています。